



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年 8月 4日(土) 9時00分～ 12時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／18名(うち11時からの打合せのみ参加 5名)、事務局／1名 計／19名

● 午前

今日の金ヶ崎公園の活動には、朝9時に14名のメンバーが集まり、いつものようにミーティングの後、公園内の昆虫を中心とした自然観察をしました。当日は猛暑の中の活動であることと、午後の都合が悪いメンバーがいたことから、午前中の自然観察のみを実施しました。

また、その自然観察も、いつもより1時間早く11時に切り上げて会議室に戻り、新たに5名のメンバーが加わって、9月8日(土)に開催予定の「昆虫大捜査線in金ヶ崎公園」のスケジュールや各スタッフの役割分担などについて、確認の打合せをしました。

打合せ後、12時に今日の活動を終了して家路につきました。

● 次回の活動は9月8日(土)の予定です。当日は、上記のとおり一般市民を募集して「昆虫大捜査線in金ヶ崎公園」を、午前中に実施する計画です。エコウイング会員がスタッフとしてサポートします。

そろそろ、秋の気配も感じられるようになってきていることと思われます。安全で楽しい「大捜査線」となるように、皆様のご協力をお願いします。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



観察会終了時の集合写真



「昆虫大捜査線in金ヶ崎公園」の確認打合せ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の自然観察会では、まずチョウのなかまが色々と姿を見せてくれました。ただ、翅を傷めたチョウが目立ちました。その他に、トンボやコウチュウのなかまも色々観察できました。また、夏の昆虫の代表のセミのなかまも、盛んに鳴いていました。

先月の活動のときに、公園奥のコナラの木にキイロスズメバチの巣を見つけましたが、今日確認すると巣が一回り大きくなっていました。巣の周りには、相変わらずたくさんのキイロスズメバチが集まっているのが観察できました。来月の「昆虫大捜査線」の観察対象外の区域ですが、要注意です。

アサマイチモンジ



キタキチョウ



アオスジアゲハ



ヤマトシジミ



モンキアゲハ



オオシオカラトンボ



ウチワヤンマ



アベマキの樹液に集まるカナブン



マメコガネ



キマダラカミキリ



オオナガコメツキ



ゾウムシのなかま



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

アブラゼミ



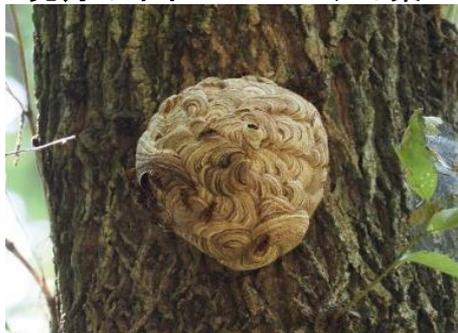
ニイニイゼミ



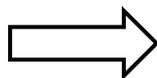
クマゼミ



先月のキイロスズメバチの巣



今月の一回り大きくなった巣



野鳥は、観察をする時間がありませんでした。その他の生き物では、大きなムカデが桜の幹を這いまわっている姿を見つけました。

植物では、管理棟横でススキの根元にナンバンギセルの芽が出てきているのを見つけました。来月は花を觀賞できると思います。キノコでは、マンネンタケが数本出ているのを確認しました。

桜の幹を這いまわるムカデ



ナンバンギセルの芽



マンネンタケ



※ナラ枯れ被害の拡大

一昨年、昨年と発生を確認していたナラ枯れが、今年はさらに被害が拡大しているのが確認されました。新たな被害木は20本以上はありそうです。カシノナガキクイムシが病原菌を伝搬して広がっているのですが、何も対策ができないのが、残念です。

葉が茶色に枯れた、新たなナラ枯れ被害木



被害木の幹周りに出ている木の粉

